

6号 模範解答以外はバツとなる！

学校のテストの採点についての考え方

○ もし授業で、文章中に出てくる順番に式を書いていたなら、単元テストでも、同じことが求められたと思います。お子さんのノートやドリルがどうなっているか、見て下さい。というのも、単元テストは、入試や検定と違い、**授業でやったことができるかどうかを確認するものだからです。**
授業でやった方式以外は認めないというスタンスですかね？

○ 私はテストは“授業で教えていた通りにできているかどうか”ではなく、“**授業で扱った内容を理解しているかどうか**”を評価すべきと思います。(保護者) **私も同感です。**

○ 残念でした。小学校低学年の間は知識を問うているのではなく、**先生の教えたことをちゃんと聞いているか確認しているわけ。**

○ こういう「自分が教えた方法で解くこと」に拘泥する先生というのはやっかいだけれど現実にはるので、塾の先生的には「学校では学校で習ったやり方で書いときなさい。そうすりゃ先生は喜んで君の成績を上げてくれるから」と割り切らせてる。

○ 教師の教えたとおりに解かなければいけないのなら、**ガウスのエピソードは素晴らしいことではなく、ダメな例になってしまうのか？**
全く、その通りですね。

○ しかし、この「**習っていないからダメ**」って風潮もなんとかならないもんかね。予習や自学を否定して、**好奇心や向上心も知識欲も否定して**、「おまえはその枠に収まっておけ」ってのはものすごい違和感。その方が管理しやすかったり、子どもが天狗になることを防げたりはするのかもしれないけども、デメリットが大きすぎやしませんかねえ。「2年生で名前を漢字で書けるのか、偉いね」という先生や学校と、「習ってないから書くな、生意気な」というのと、どちらが子どもにとっていい環境なのやら。

○ 大切な点は、**数学的に正しいか否かではなく、小学校教師が正しいと評価するか否かです。**小学校教師もそうでない人も時間は有限です。小学校教師は数学者ではありません。とすれば、**小学校教師は、クレームに対処できるように、マニュアルどおりの採点をするだろうということは理解できます。**上記の問いは、数学的に正しいか否かではなく、行政に向けて発せられるべきものだと私は感じております。

模範解答と異なる式や、細かい指示に従わないものはバツとなる！

○親「700円の3割は、 700×0.3 じゃないと駄目ですか？」

横浜市教育委員会「はい」

……うそだとしか思えない！

親「**公式を覚えていない子が、自分なりに一生懸命考えて、100円の3割が30円で、その7倍、として 30×7 としたら駄目ですか？**」

……素晴らしい考え方です！

委員会「そのような考え方は否定しない。説明が書いてあればいい」

親「 700×0.3 なら説明不要、 30×7 や 0.3×700 は説明がないとバツ？」

委員会「そうなることが多いかと・・・」

親「そうすると、その都度自分なりに考えるよりも公式を暗記してあてはめた方が無難ですよね」「その都度理解して試行錯誤すると想定した式と異なる可能性が高くなり、バツになるリスクも高まる。だから**公式を暗記する方向に誘導しかねない**」という私の意見に対して
委員会「授業では考え方を大切に、公式を導くまでを丁寧に教えている。」という。

公式を使う前提としてそういうのがあるから、公式を使うことに誘導していても、考え方を軽視することにはならないらしい。

**中学生には、700円の3割は、 $3 \times 7 = 21$ で、あと適当と教えています
適当というのは単位、つまり大きさが押さえられるということですよ
大事なことは、だいたいどれくらいかが、感覚で分かるようにすることですよ
1000円の5割は、 $1000 \div 2$ でOK。5割=半分と分かっていることが一番大事**

○ 私の息子も直方体の体積を求めるテストで、似たようなケースでバツをもらってきた事があります。息子曰く、直方体の体積は縦×横×高さなので、**この順番をきちり守って式を作らないとバツだという事だそうです。**

公式は、教科書にたまたま書いてある1種類のみが「神」だということなのです

○ 子供が小学校支給の算数の問題集を解いていて、**途中のメモの式を消しゴムでいちいち消す**と言う妙な癖がついているので、**なんで消すの？**と聞いたら、**余計な式が残ったら×にされるから**、と言う答。いったい、どういう指導をしているのだろう？（途中式残してなかったら、検算もできないのに）

小学校のテストは、問題用紙と解答用紙が同じです。どこかに計算する場所が欲しいですね。

○ $10 \times 2 + 3$ を解く時に、 $10 \times 2 + 3 = 20 + 3 = 23$ と書きなさいと言うと、これも×にされると言い張る。 $10 \times 2 + 3 = 23$ と**途中式を書いたらいけないんだ**、と言い張る。ほんとにいったい、どういう指導をしているのか謎ですごく困る。

模範解答には書いて無いから？考え方が大事なら計算も見たいですね。

- うちの姪も全く同じことをして、同じことを言っていました。どこまで理解できていて、どこで間違っただのか検証できないので、何回やっても同じ問題を間違えるんです。計算式をちゃんと残すように教えると「**途中の式は書きちゃいけないんだもん**」と。こんなことして何になるんだと呆れました。

ノートに書いた計算を消す生徒が多いのは、この理由なのか？予想だにしない内容です。

- 途中式を書いてないので宿題のやり直しを命じられたようですが、これは小数を分数に直す問題。例えば 0.8 であれば「0.8 は 0.1 が 8 個分 $0.1 = \frac{1}{10}$ なので $\frac{1}{10} \times 8 = \frac{8}{10}$ 」と**全ての問題で書かないとやり直し**。

教科書に書いてある方法のみ採用するようですね。

生徒の素晴らしい考えを引き出すのが先生の役割です。教えるだけなら動画を見せれば良い。

- 算数（数学）なんて、いろいろな解き方がることが面白いのに、1つの決めたやり方で書かないと×にされる。**ひどいのは、途中経過の書き方まで学校で教えた通りに書かないと、×にされる**ことがありますね。

例えば、分数の足し算で、 $1\frac{1}{3} + 2\frac{3}{4}$ の計算をするときに、 $\frac{4}{3} + \frac{11}{4}$ と一旦仮分数

にしてから通分すると強制されていました。 $3 + \frac{1}{3} + \frac{3}{4}$ でいいのに。

この方法は、推奨する計算方法です。

わざわざ仮分数に直した後に通分するやり方だけが正解となっています。

問題によって、計算の仕方は使い分けるのがよろしいかと。

このやり方しかダメだと刷り込んでしまうと $21\frac{1}{3} + 32\frac{3}{4}$ などといった計算の際に無駄に

大きな数字のかけ算が入り、時間がかかる上に間違いも起こりやすいですよ。

だから、学校で教えられたやり方が間違っているとまでは言いませんが、**子供には自分がわかりやすい（間違えにくい）やり方で解答しなさいと指導しています。**

- 教師の教えたとおりに解かなければいけないのなら、**ガウスのエピソードは素晴らしいことではなく、ダメな例になってしまうのか？**

全くその通り

- 自身が小学生の頃、 $(2 + 3) \times 4$ これを $2 \times 4 + 3 \times 4$ で解いて、減点を喰らったことがありましたが、当時受験組だったやつらと喧嘩腰で説得の末、もとに戻してもらった事がありました。何か間違っただけの教育が成されている気がしてならない。

単なる計算だとしたら○です。指示があり、それに沿っていないので×になるなら分かりますが。

○ 「初めの大きさからどれだけふえたか、**どれだけ減ったかを考えて**答えを求めましょう。」
バスにお客さんが39人乗っています。停留所で13人おりましたが7人乗ってきました。
お客は何人になったでしょう？

うちの子は、1年生で習った3つの数の計算を使って、**順を追って立式し、**

$39 - 13 + 7 = 33$ 答え33人 と答えました。

正解です。一番ノーマルな解答だと思います。

最初に、「どれだけ増えたのかどれだけ減ったのかを考える」

これを理解するのに、2年生の子どもには本当に時間がかかりました。

この場合は、出現順ではなく、「どれだけ増えたのかどれだけ減った」の強制？

最初何人いたかを赤で線分図を書く、そこから、減って増えて・・・けっきょくどのくらい増えたの？どのくらい減ったの？ 最初の数にしておいて、増えたり減ったりした現象を、いったいどのくらい増えたのか減ったのかの動きをまず考える。そうすると、増えたのが7減ったのが13。減った数は多いということは、結局は最初の数よりも減ったんだ！ということがわかる。**いくつ減ったかを出す式は、この二つの違いを出せばいい。 $13 - 7 = 6$**

最初の数から6減ったのだから $39 - 6 = 33$ 答え33

この計算式でも結構ですが、2つの式にするのなら、 $39 - 13 = 26$ $26 + 7 = 33$ とします。

実は、この内容は教科書にありました。不思議な内容です。考えさせる問題なのでしょうか？

○先生の言い分である**予習がいけないこと**というのはおかしいでしょう。このテストで掛け算を使ってバツにするようなひねくれた先生はこの人だけだと思います。**私が小学校だったころバリバリ予習して、違うとき方しても「よく知ってるね」と書かれて普通に○もらえてましたし。**

○子どもが興味を持って勉強を先取りすることは悪いことどころか、大変喜ばしく、褒めてあげるべきことだと思う。日本の教育には、まだまだおかしなところがあるようだ。

○娘が今算数の授業で、九九をひたすら覚えて先生の前で暗唱するテストをやってるらしいんだけど、「8の段だけ今日合格できなかった！」っていうから「何を間違えたの？」って聞いたら**「 $8 \times 4 = 32$ 」を「はっし」じゃなくて「はちし」って言っちゃったから だと。どっちでも良くない？**

○要するに、論理的に正しければ、どんな解き方でも「正しい解き方」ということなのです。**たとえ“模範解答”と違っていても、「論理的に正しく解けている」と判断できれば、大きく○をつけてあげてください。**(Z会より)

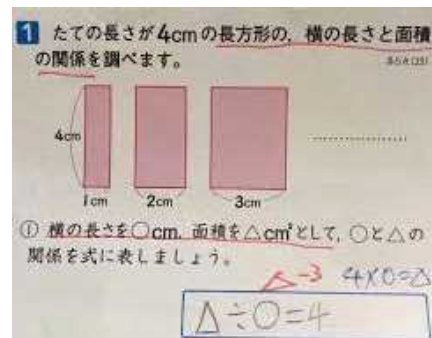
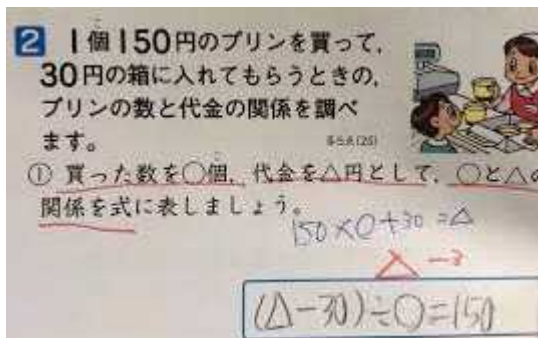
○私が、実際にテスト返して見たのは、文章題で $2800 \div 700 = 4$ が正解の所を $28 \div 7 = 4$ と書いて **×** をもらっていた。**文章題にない数字は、直接式に使うてはいけないらしい。私なら花マルだ。** また、ある先生曰く、初任者の時に、**模範解答以外は×** にするように指導されたと。1つ1つ考えていたら面倒なことになるからと。

○しかし、この「**習っていないからダメ**」って風潮もなんとかならないもんかね。予習や自学を否定して、好奇心や向上心も知識欲も否定して、「おまえはその枠に収まっておけ」ってのはものすごい違和感。その方が管理しやすかったり、子どもが天狗になることを防げたりはするのかもしれないけども、デメリットが大きすぎやしませんかねえ。「2年生で名前を漢字で書けるのか、偉いね」という先生や学校と、「習っていないから書くな、生意気な」というのと、どっちが子どもにとっていい環境なのやら。

**生徒は先生を超えていかなければならい。超えて欲しい。
先生より素晴らしい解き方が生徒から出てくるのが喜びにならないと。**

○**考え方や計算式は1通りではありません。** 生徒の書いた式の意味を、一生懸命理解しようと努めて、○か×かを考えてあげなければなりません。**模範解答の式以外を×と決めてしまうことは、先生の負けです。** **生徒は先生を超えていかなければならい。ぜひ、超えて欲しい。先生より素晴らしい解き方が、生徒から出てくることは、喜ばしいことだと考えないといけない。**

○ **関係を表す式というなら、どう書いても自由なはずなので、当然正解です。**

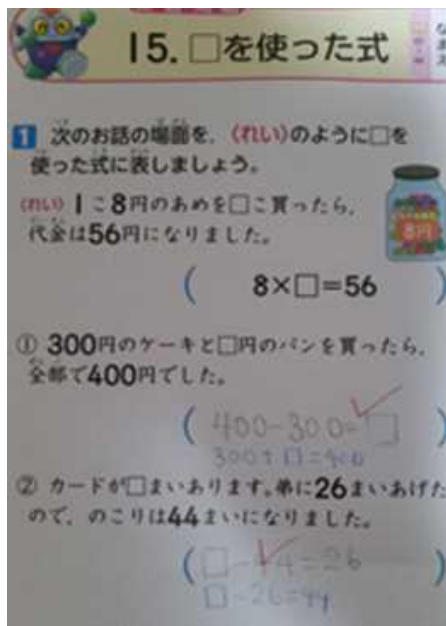


模範解答ではすべて表せないの、教員がその穴を埋めていかないといけない。

○私なんか、 $\frac{4}{14} + \frac{6}{14}$ の計算で、先に約分して分母を7に揃えた状態でたしたら答えが合っていたのに足し算を先にしなかったという理由でバツにされたことがあります。もう20年以上前ですが。

**この問題では、誰でも先に約分するのが当然でしょう。
小学校はワンパターンで教えたがる傾向があります。問題により柔軟性が求められます。**

○ 児童は、今まで「式」といえば「答えを出すための計算の式」しか頭にありません。

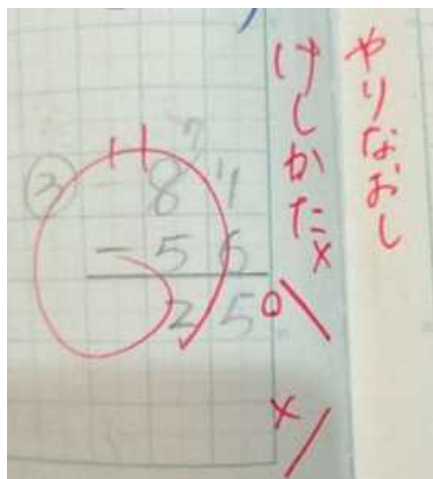


ここでは、初めて習う「等式」を同じ「式」という言葉で教えています。今まで、さんざん「式と答え」、「式と答え」を問われていたのに、「式」そのものが「答え」になるので、答えはどれなのとなるのは当たり前です。

また、内容が簡単なので、等式を作る前に□に当てはまる答えを求める式が浮かんでしまいます。

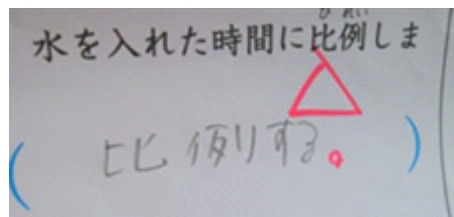
①の場合、式を求める式を書いてしまいました。この式を書いてしまう児童は多く存在します。変数として使っている□の説明が不足していることが原因です。詳しい内容は、学習していないので○で良いと思います。

②の場合、×になる要素がないので、当然○です。考え方に間違いはありません。等式の書き方は1通りではありません。



○ 消し方の斜めの戦の向きが逆なのでバツだって。そんな～！

誰が決めたのこのルール？



○ 模範解答に「。」があったから？そんな！（泣）

漢字以外の単語・言葉遣いなども同じ扱いをするのでしょうか。

学問を自主的に学ぶと、かえって面倒になってしまうということになります。

習っていない漢字も知っていてすごいねと褒めてあげる方が良いのではないのでしょうか。

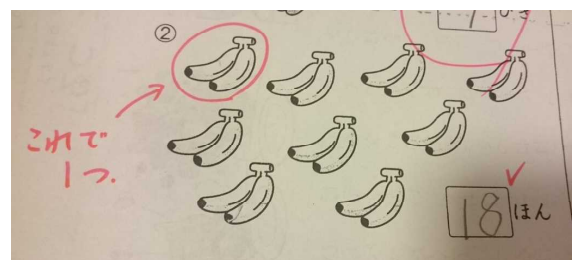
○ 以前アップした案件ですが、掛け算の順番だけじゃないんですよ。実は、必ず筆算も書かないとバツになるんです。計算しやすいようにこの式にしたと思うんだけど…。最近では超簡単な分数の掛け算を暗算でやった為に全問バツという悲惨な目にあいました。無理矢理途中式入れて問題やり直しでした。

業者テストなどの解答が100%間違えていてもそのまま！バナナ問題

○ それで1つでも

絶対！ぽんじゃないよ！！！！

娘が正解だと思うな



- 再提出する時に「□ほん」の下に「ふさ」って書いて持って行かせたら、「**教材がこうなんだから答えは9本なんだよ**」と説明を受けて帰ってきました。そういうことを聞きたいんじゃないよ。
- 2本1組なんで『18本』が正解だとは思いますが。コレは『教材の出題者による失態』やろねえ。ソレ以上に『**マニュアル通りの正解でしか答えられない教師**』にも、かなりの問題はあると思う。



- バナナの数え方！先生勉強してください。一房！単位は“房”“本”ではないですよ！！
- 教材なので問題自体は先生の責任ではないでしょうが「そうだよね、房だよ。でも、解答は『9本』ってなってるし。よし、この問題は『9』も『18』も正解。

それにしても『房』なんて難しい言葉よく知ってたね』ってくらいの度量を見せてほしい。

旧 きゅうとうぼくしゅ 套墨守して学ぶ意欲を削ぐのは本末転倒。

- ありがとうございます。娘にもリップ欄などで「娘が正しい」「問題の絵、解答欄の“ほん”がおかしい」ことを指摘する大人がたくさんいることを話しました。気づくかわかりませんが再提出させるテストにも私から一言書いておきました。これにめげずに自分なりの解答を導き出せる子になって欲しいです。 **歩調を揃えて学べない子は注意されるクラスのようにです。** 暗算中に癖でそろばんを弾く手がでてしまった子は「指で数えないでね」と言われます。指折り数えてるわけじゃなく考えが指に出てるだけなのに。？
- 房と本の違いも分からん教師が教えているとはな。
- **教材だってミスはあるだろうし、教材のミスを見抜いて正しい答えを教えることも先生の役割ではないだろうか。** この先生で大丈夫だろうか？と不安になってしまう事例。受け応えを見る限り、ダメだこりゃとしか思えないけど。
- この考え方だと三本一ふさのバナナが混ざっても答え9「本」になる理屈。
- 教師の立場から。 **この問題は、2とびをつかって数える問題だと思います。答えは18本です。** 教師の間違いに気付いたのであれば、ぜひ教師に教えて欲しいです。ツイッターで仲間

を増やして教師批判をしていると思うと、教師として心が痛みます。

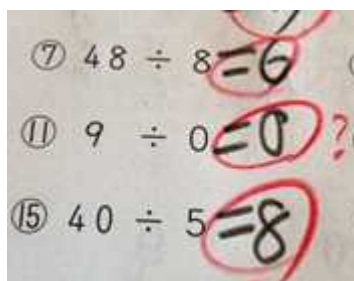
○ これは納得できるまで「担任→学年主任→教頭・校長→市教委→県教委」の順に話を上げていくべきです。これは単に教員のアタリハズレの問題じゃなく「ウチの子に何を教えてくれるんだ?」「**ウチの子が社会に出て恥かくようなことを何故教えるんだ?**」という問題です。

○ 「考えてみれば、娘さんの言う通りだね」と認めてくれる先生だといいいのですが。忙しいからと、思考停止状態で指導にあたるのは寂しい教育現場です…。これで娘さんが主張続けると、きっと先生から「偏屈な子」のレッテルを貼られる訳で。現状、親御さんがフォローするしか無いでしょうね。

○ インスタグラムで、小学生のおもしろ珍回答をアップしているアカウントがありますが(保護者から投稿されたものをそのアカウントにアップしているそうです)、そのテストの問題のくだらないこと!! **教材を作っている大人たちの学力低下も問題あります。**

市販の問題集は、特に気を付けないといけません。正しいと決めつけない方が良いでしょう。私も昔間違いを指摘したら、次年度直した新しい問題集を頂きました(笑)。

問題や答えが間違えていることに気がついて欲しい

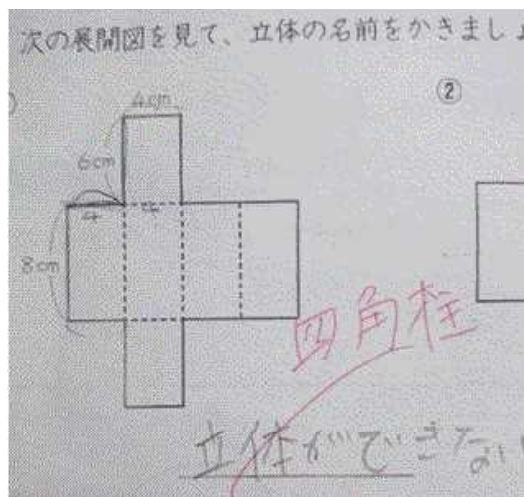


○ 0にマルが付いているのに、?マークは教師が書いたのか。

教師もおかしいと思ったが、
模範解答には異議を唱えられずかな?

いかに適当に問題を作成しているかが分かります。

0で割ることはできないという内容は、小学生も学習しています。



○ 私は、最初「のりしろ」が書いてないので立体が出来ないと書いたと思いました。

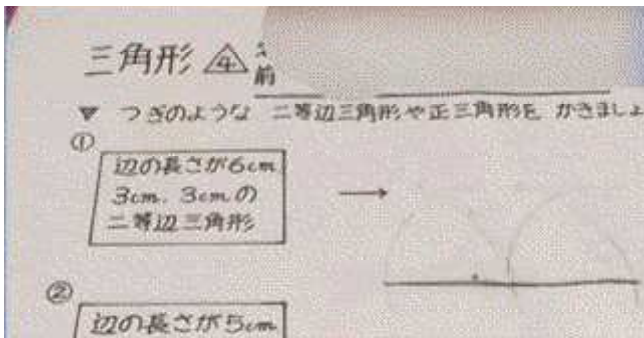
しかし、良く見ると数字が書き込んであります。

6cmの辺が重なるはずの辺の長さが短くて

4cmの辺と同じ長さに見えます。

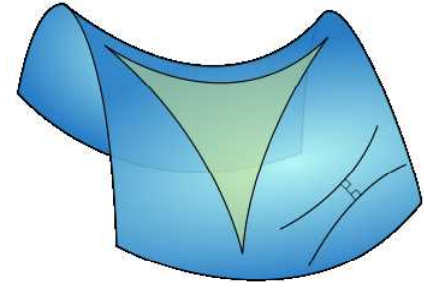
長さが異なるので、重ならない。だから立体が出来ないと解答したのでは? 学力不足のテスト業者が書いた展開図を注意深く見たうえで答えるなんて素晴らしい。

生徒の方が、業者テストの作成者より学力がありますね。この答えは花丸。すごい!



○これ、私の小学校でも使われてたんですけど、問題の間違いが多くて途中から違うプリントになりました…w

先生は忙しいですが、できたら生徒に解かせる前にチェックできると良いですね。



○今の小学校って非ユークリッド幾何学教えてるのか…
すごいな

○誰も平面上とは言っていない。球面三角形的な…

○トポロジーは小学校の算数課程に入っておりません（マジレス風）

○3cm と与えられてますから3.4cm までは OK

同様に6cm は5.5cm まで OK ですからこれで題意を満たした二等辺三角形が描けます。

○算数の不思議なルールにおいても

あわせる場合は、順不同のはず。

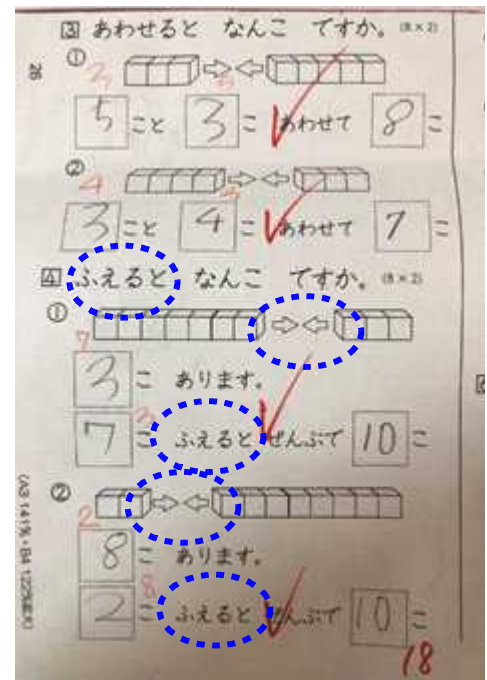
ただ、最近では区別がつかなくなっている。

ふえる場合は順序を決めているが、この図は矢印の使い方が間違えていて、あわせる場合の矢印になっている。

どちらが増えたかが分からないので不思議なルールも適用できない。

作成者が合併と増加の区別をしっかりと勉強していないことが分かる。

大人も分からない根拠のないルールを強制しないで欲しい。



間違いを発見して生徒は伸びる

○ある出版社が出していた算数ドリルで、牛乳瓶・ペットボトル（うろ覚え）・やかんの絵と 200 mL・500mL・1L とを線で結ぶ問題があって、牛乳瓶も 1L とかあるから間違える子がいて出版社に問い合わせたら「ごめんなさい、検討し直します」って返事きたから無駄ではないかも。ただ先生の対応が大事だよなあ。

○ 自分は子どものころ、ちょうが n ひきいます。はねは なんまいですか。という問題に $4n$ 枚と答えたら不正解扱いでした。納得できなかったので、翌日、根拠となるブツを持っていき訂正を求めたら丸にして貰えました。いい先生でした。

○ かなり昔の話ですが 小学生の教師に教材のミス指摘したら 認めて貰えず、教材の会社に電話したら認めて貰い、それを先生に言ったらシカトされ滅茶苦茶嫌われました。中学の時は先生が認めて授業中に皆に言って直させてくれました。先生の当たり外れは本当に大きいです。

○ 高校の話ですが、教材の間違った問題や適切じゃない問題を見つけて、先生も納得する説明をした時は内申点に加点が入りましたよ！間違っただ箇所は先生が出版に電話してもらいました。間違っただ箇所を見つけるくらい教材に取り組んでる姿勢の評価らしいです。

神奈川県教育委員会が、HPに掲載している反比例の問題自体と解答の説明に間違いがあったので、私がメールで指摘したところ、返信を頂き、直して頂きました。

○ 初めまして。中学生の時、理科の教科書で違和感を抱いた同級生が、教師に質問をしたら受けた教師もその点を疑問視して教科書の出版社へ問い合わせたら、当社が誤りを認めたということが、ありました。後に、彼は現役で東大に合格しました。

○ わたしも、小学校時代は先生にいじめられたので、良い思い出はありません。「宇宙の中心は太陽系だ」「香港は島ではない（小学生の地図だと赤丸が大きくて香港島が消える）」という担任と大喧嘩しました。というわけで、小学校は基本的にすきではありません。でもカミサンや、仲の良いお友達に小学校の先生が多いのはなんでだろう！(^)!

○ そういえば中学生の頃、音楽の試験でブリテンの青少年のための管弦楽入門の曲名を書く問題があって、そう書いて×になったのを思い出した。音楽の先生曰く「教科書には青少年の管弦楽入門と書いてあるので間違い」。まあ相手にするだけの価値もない先生だったのでそれまででしたが。

ネットで調べたら、生徒の方が正しかった。CDもありました。教科書は省略したようです。

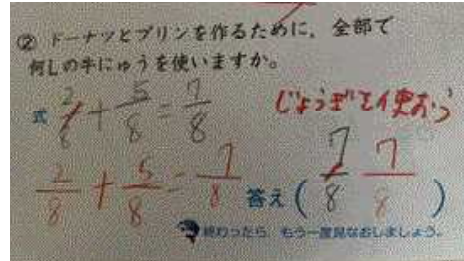
○ **先生の誤りを指摘して生徒は伸びる**

私が小学生の時の担任も、しばしば誤りを口にする先生でしたが、**そのたびに、それは誤りだと指摘して、納得されなかったら説得できるだけの資料を自力で集めて抗議したものです。**

今思えば、そうやって何が正しいかを自分で調べていくという経験が学力につながった気もいたします。

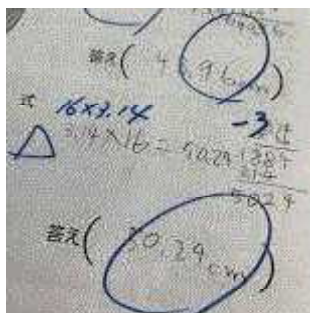
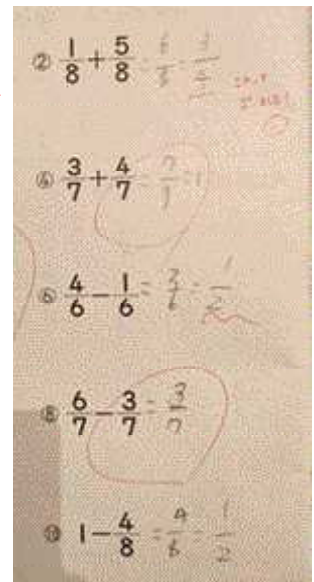
先取はバツ、細かい指示に従わないとバツ

- 約分は習っていないという理由で、×にするのなら、**約分できる問題を出さなければ良いと考えます**。先生自らテストを作成していただきました。



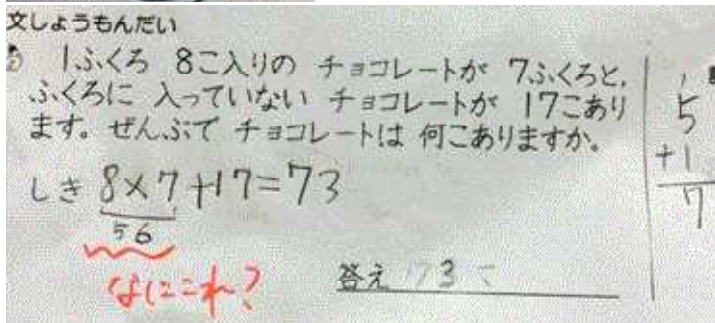
- 定規を使わないで書くと×

定規を正しく使って線に過不足の無いようにする練習ということか。そういう前提で問題を出してるならいいけど、一応○としつつ「もう少しきれいに書きましょう」とかの但し書きをする方がよいのでは？



- 相変わらず、公式としてまとめてある順番でないとマルにならない。その先生は、中学生になったら $S = \pi r^2$ なので、今度は円周率は前に書かないと間違いと言うのだろうか？

- かけ算は習っていないのでバツ



○ 少なくとも「8個入りが7袋」とか、明らかに掛け算使用を前提としている数値だろ。そこまで個数を和算限定にしようってんなら3個くらいでよかったろうに。「8 + 8 + 8 + 8 + 8 + 8 + 8」みたいな冗長な羅列とか、
 どんだけアタマと要領悪い設問なんだよ。

- 「なにこれ？」という言葉から子供はどう解釈すればいいかわからんでしょ。もっと分かりやすい言葉で子供に伝えればこんな問題ならなかったと思うよ。**掛け算を使うことはすごい事だけど、このテストではどれだけ足し算について理解しているか試している**と、ここまで説明しあげたら、子供も親も嫌な思いはせずに済んだ。逆に教科書や参考書に従えば、指導の理由を聞かれた時「教科書に従っています」と鉄板の根拠、悪く言えば「教え育てることの放棄」だと思います。**習ってない漢字は書かせない、習ってない解法では不正解**、これらは全て教育者として大人として、正しいことを教える自信が無いからだろ思います。

- Twitter では「間違っていない」「合ってるよ」など、子どもの方が正しいという意見の方が圧倒的に多くみられた。

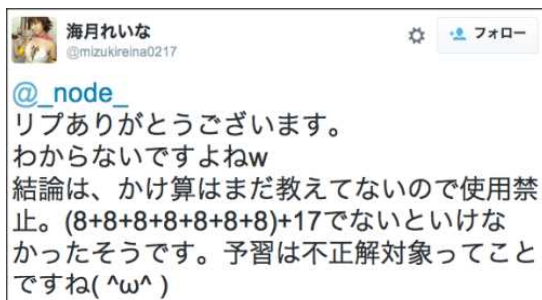
○先生「**まだ習っていないから不正解**」。なんだ。この理由は…。

学校の先生が、こんなくだらない理由で正解を不正解にしているとは信じられない。

学校のペースに合わせず先取りで教える塾を目の敵にでもしているのだろうか。

○ **Twitter** ではこの先生の教育方針に批判が殺到！子どもが不信感を持って勉強から離れる恐れがあり、個性を奪うかもしれないと指摘されている。ちなみに、どのような解答をしていれば先生の考える「正解」になったのかというと…。ついに正しい答えが判明。

○ $8 + 8 + 8 + 8 + 8 \dots$ 。うわあああああああああ！8ばかりで面倒臭い！



子どもが興味を持って勉強を先取りすることは悪いことどころか、大変喜ばしく、褒めてあげるべきことだと思う。

日本の教育には、まだまだおかしなところがあるようだ。

○何のために掛け算があると思っている？掛け算を習っていない者に出す問題ではない。

「8個入りが7袋」って、どう考えても掛け算じゃないか！もしかして先生は、「8個入りが7袋」というのは、足し算で求められると本気で思っていたとか？？そうでなければ、 $8+7+17$ が正しいはずがない。

ポイントは業者テストですね。考えて作成していないことが良く分かる。

○ノーヒントでそんな掛け算封印なんてつけ加えられてもねえ、察しろというには無理があるわ。解答者にわかるように書かなかった出題者の落ち度でしょう。この問題は足し算のみで考えてください、学校以外で掛け算を習っていてもつかわないように、と

○いや、確かに足し算のテストだけれど別に掛け算は使ってはならないとか書いてなかったことや、先生自身テスト前に言っていなかったこともあり、不正解にした先生が良くなかったと言えるでしょう。ましてやこの問題に至ってはあきらかに掛け算でやるべき問題だし、先生の言い分である予習がいけないことというのはおかしいでしょう。今ではチャレンジや Z 会といった通信教育、塾にかよって予習している子供も多いことから、このテストで掛け算を使ってバツにするようなひねくれた先生はこの人だけだと思いますよ。**私が小学校だったころバリバリ予習して、違うとき方しても「よく知ってるね」と書かれて普通に○もらえてましたし。**

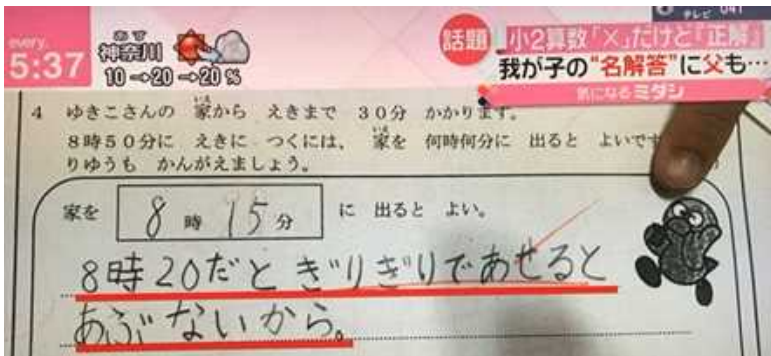
ということは相対的にこの日本の学校教育方針が悪いというのは当たらないですね。

○「授業で習った解き方でもやってみましょうね」とかならわかるけど、ただこの問題の場合はどう考えてもたし算でやる問題ではないよね。

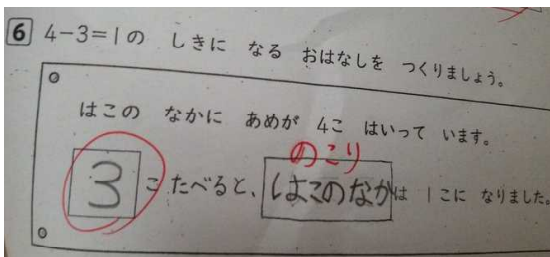
○小学生の時に鶴亀算的な問題を連立方程式で解いたら不正解にされた事あります。（親からもらった漫画で学ぶさんすうの本に載ってて覚えた）先生に聞いたら「**教えてない事を使っちゃだめ**」と言われた記憶があります。 **実は鶴亀算の方が早く答えが出る問題もあります。**

その後算数の授業で組み合わせの問題（A, B, C を並べるのに何パターンあるか）の時に試行錯誤して樹形図に行き着いたフリをして褒められました。この時演技を覚えました。宿題は順列と組み合わせの公式を使って解いて提出しました。

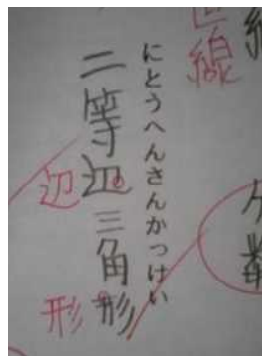
- なんでこんなことを主張する人が権力を持ち続けられるかが疑問。数学者としてはトンデモなのに、権力を維持するのは上手いのか、こんなトンデモでも一度権力持つと周りはひきずり下ろせないものなのか。
- 算数が嫌いな子が増えそうだわ・・・
- 100円玉1枚、50円玉2枚、10円玉3枚を使って支払える金額は何通りありますか。
単純に230円持って「支払える金額」は何通りかと考えるなら、1円～230円までの間なら「支払える」ので、「230通り」も間違いではないということになります。問題文に「ちょうどで支払う」や「お釣りが出ないように」とは書かれていないところを突いた、柔軟な発想の結果と言えるでしょう（なお、QUOさんによるとこの問題集の模範解答は「19通り」）。
- 大学や高校はともかく、小学校は学問や常識を教える場所であると同時に「勉強は楽しいよ」と教える場所であってほしいと思うな、本当に。
- 「日本のスティーブ・ジョブズが生まれないのは何故だ」とその理由を問いておきながら、実際は、画一的に行われている日本の教育を風刺した投稿が話題になっています。



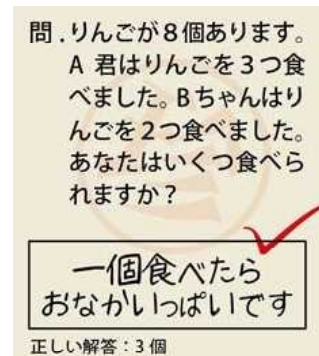
○理由も考えましょう。
と聞かれたら、このような内容ぐらいしかなないかな？
まさか、式は理由とはいえないでしょう。



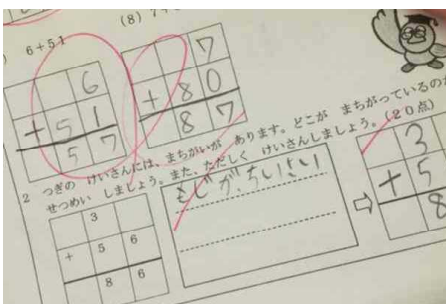
小学生の自由な発想に、
教員がついていけないことが分かる



もはや粗探し！



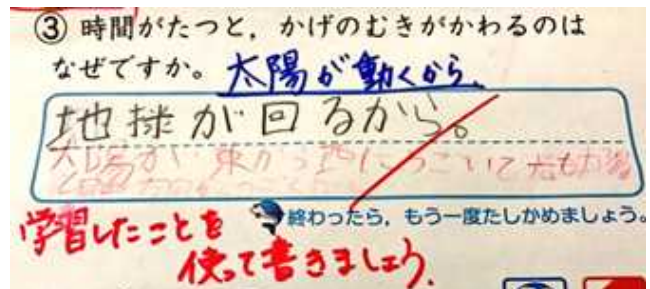
こんな聞き方をしたなら
○だよな



確かに文字が小さくて左上すぎる

解答が正しくても、習っていなければバツとなる！

○小学生の息子は「地球が回るから」と回答。しかし、採点で「×」となり、「太陽が動くから」と修正されている。さらに教師は、「**学習したことを使って書きましょう**」との**注意書きを追記した。**男性は、この採点基準を「『地球の自転』をまだ習っていないという理由で、『太陽が動く』と答えろという教育」だと批判。太陽はあくまで「見かけ上の位置」を動いているに過ぎない。影の向きの変化や日の出・日没はすべて、地球の自転によって起こるため、「地球が回る」という回答は正しいように思える。



この子は、子ども科学電話相談で質問した。

子：ええと、僕が行っている学校のテストで、「時間が経つと影の向きが変わるのはどうしてですか」という問題が出たんですけど、それで僕は、「地球が動くから」と書いたんですけど、答えが、「太陽が動くから」だったんです。けど、僕が書いた「地球が動くから」は、宇宙から見たら正解だと思うんです。それで、「太陽が動くから」は、地球から見て、正解なんじゃないかなと思ったんですけど、それって両方正解なのか、どっちかが正解なのか、どっちなんですか。

アナ：そうかそうか、そうだね。◎くんは「地球が動いてるから」って書いたの？

子：はい。アナ：バツになっちゃった？

子：はい。アナ：バツになっちゃった。バツになったの？ マルだったの？

子：バツです。アナ：バツでしたか。

子：それで、正解は「太陽が動くから」です、って。

アナ：そうか。それは納得いかないのも分かるね。分かります。

じゃあどっちが正解かという質問ですね。国司真先生です。

先生：はい。◎くん、こんにちは。子：こんにちは。

先生：**すごいことに気がついたね。**それは実はね、科学と理科もそうなんだけど、答えはいくつもあるの。「マルかバツで決めることができないということ」もいっぱいある、ということがまず1つ。それから、◎くんがすごいことを考えたのは、**観察する場所、どこからその太陽の動きを見たかということ**で、**答えが変わるんだよね。**それをもう、◎くんは気がついてるの。科学をする、それから理科の勉強で、「どこで観察するか」、それから「いつ観察するか」という、これ「視点」というんだけど、それはね、とても重要なことなんです。

◎くんは3年生で、その視点を、地上にとるか宇宙にとるか、ということをちゃんとわきまえているので、これはすごい。**実はね、中学生にならないと、その勉強はしないんですね。小**

**学校はね、天動説の立場で理科の授業をするので、太陽が動いているというふうになってしま
うんです。**でも、それはね、学校の先生は、3年生の学習だからということで、太陽のほう
が動くものをマルというふうにしたんだと思うのね。でもね、マルかバツかでは決まらない、と
いうことをまず考えてください。

子：はい。先生：それからもう1つ。日時計って見たことある？

子：はい？先生：日時計。時計なんだけど、太陽の影がね、時を刻む日時計。

アナ：お日さまの日に、時計って書いて、日時計。

子：ああ。見たことありません。

先生：実はね、おじさんの科学館で今度、日時計をつくるんだけどね、その日時計をつくって、
影の動きを調べると、とても面白いことが分かります。そして、◎くんがもう気がついている、
地球が動いている、これはね、「自転」といいます、コマみたいに。それが、どこを中心に動
いているかとかね。それから季節によって、その太陽の影がね、同じじゃないんだよ。変わる
の。これも調べてみるとね、地球の動きのうちの今度は太陽のまわりを回るね、公転まで分か
っちゃうから、3年生でそれを全部分かっちゃったらね、中学生のお兄さんでも分かんないこ
とを、全部説明できるようになるよ。

子：はい。僕は図鑑を読んで、地球が動いてるって知ったから、「地球が動くから」って書いた
んですけど、これは、地球から見ての話だと思います。

先生：そう、それはね、きっとね、「行間を読む」ってよく大人はやるんだけど、先生に、「**地球
から見ると太陽は動いてるけれども、宇宙から見ると地球がコマみたいに回転してるんだ**」っ
て書けば、きっとハナマルだったと思う。

アナ：それ、先生に言ってみた？今、言ってみたいなこと。

子：いや、言ってないので、じゃあ夏休み明けに言いたいと思います。

アナ：そうだね。国司先生：それはね、ぜひ先生とね、そういう話をするといいよ。

アナ：きっと先生も分かってくれますよね。国司先生：うん、分かってくれると思います。

アナ：きっとマルにしてくれると思う。子：はい。

アナ：言ってみよう。だから、しゅうくんも正しいというので、もちろんいいわけですね。

先生：両方の考え方が、視点をどこに置くかということですね。

アナ：◎くん、いいかな。子：はい。

アナ：夏休み明け、言ってみよう。子：はい。言いたいと思います。

アナ：神奈川県の小学校3年生、◎くんからの質問でした。すごいですね。宇宙からの視点で考
えて、解答したんですね。

先生：すごい、やっぱりね、今の小学生は。宇宙感覚ですね。

子どもが書いた解答をよく理解してあげて、丁寧な解答が欲しいですね。

「習ってない漢字使うな」指導で自分の名前を書けない子供も

最近、自分の名前であっても学校で習ってない漢字を使ってはならないと先生が指導するという。おかしい。**だって名前の漢字はすべて学校で習うとは限らない。ならばいつまでも自分の名前は漢字で書けない。名前は親が指導し、学校では友達の名前を読めるように指導すべきと思う。**

立命館小学校副校長で大阪府教育委員も務める陰山英男さんがツイッターに書き込んだつぶやきが、大きな議論に発展している。あまりの反響の大きさに、陰山さん自身驚いているようだ。

反響の理由を、陰山さんはこう分析した。

「保護者の声で最も多かったのは、書ける漢字を書かせないという“ブレーキをかけること”への反発でした。この問題に保護者がここまで熱くなっている背景には、学校への不信があります。これまで教師がよかれと思って指導してきたことが、保護者目線で見るとズレていることがあるんです」

「漢字と名前」問題が浮き彫りにした、いまの学校教育の問題とは――

例えば「陰山英男」さんが新入生として小学校に入学したとしよう。最初は漢字を習っていないので、すべて平仮名で「かげやまひでお」。1年生のうちに「山」と「男」を習うので「かげ山ひで男」と書くよう指導される。4年生になると「英」の字を習い「かげ山英男」と書くが、「陰」の字は小学校卒業まで書かないことになる。これが名前の「交ぜ書き」だ。

ツイッターで指摘しているとおり、子供が漢字で自分の名前を書けるにもかかわらず、「平仮名に直せ」と指導されるケースが少なくないことがわかった。つまり、子供は「陰山英男」と書けるにもかかわらず、「かげ山」と書きなさいと教えられていたのだ。東京都在住の A さん（44才・主婦）がいう。

「子供には“小学校に上がる前に漢字で名前が書けるように”と漢字を覚えさせ、子供も名前を漢字で書けるようになったことで自信がついたのか、学校に行くのを楽しみにしていました。ところがある日、『習ってない漢字は平仮名で書かなきゃダメなんだって』とションボリして帰ってきたんです。思わず“ダメってどういうこと？ 自分の名前なのになんで漢字で書いちゃいけないの？”と声を荒らげてしまいました」

さらに、学校や教師によって漢字が OK だったり NG だったりすることで、ますます混乱してしまう子供や保護者もいる。

「うちの名字は『清水』で、息子は全部漢字で書けます。でも2年生で習っているのは『水』の字だけなので、それに従うと『し水』と書かなければいけないことになる。担任の先生は息子が名前を漢字で書いても『平仮名に直しなさい』とはいわないそうですが、書写の先生には『平仮

名に直しなさい』といわれてかなり戸惑っていました。

最近では先生の顔色を見ながら『清水』『し水』を書き分けているようですが、どうして子供がそんな気を使わなくちゃいけないのか。せめて学校内で統一してほしい」(39才・主婦・東京)

○数学じゃないんだけど、娘の同級生が**習ってない漢字使ったからって理由で作文の課題が減点されて**ちょっと問題になってた。

漢字はどこで覚えていくのでしょうか。学校内だけではありません。自分で本を読んだり、親に教わったり、いろいろな場所で少しずつ身につけていくものだと思います。

覚えただけではなく、学校で教わったかどうか記憶する必要があることになります。

○公立小学校に通う、今5年生の子どもがいる母親です。四教科の解答用紙の書き方で教えて欲しいです。漢字で書かないと×、ひらがなも○、… 学年で先生が変わると採点基準も変わります。

○昨日、娘が学校から算数のテストを持ち帰り、「答えを漢字で書いたらペケになったの」と話すので見てみると、〈グラフを見て答えましょう。〉という問題で 科目に平仮名でえんぴつと書いてあるのを漢字で答え鉛筆と書いたから減点されたようです。

○小学一年の息子の話です。 就学前の説明会で、子供には、自分の名前がひらがなでかけるようにだけして、他の字や足し算、引き算など一切教えないでくださいと言われてました。

○どなたかの TW で、世界人口を問う設問に、前日見たニュースで、70億人に達した解答を書いたら、**×**を付けられたというのがありました。**教師曰く「教科書で習った以外の事は間違い」なのだそうです。**教師というよりもっとシステムティックな問題なのかもしれませんね

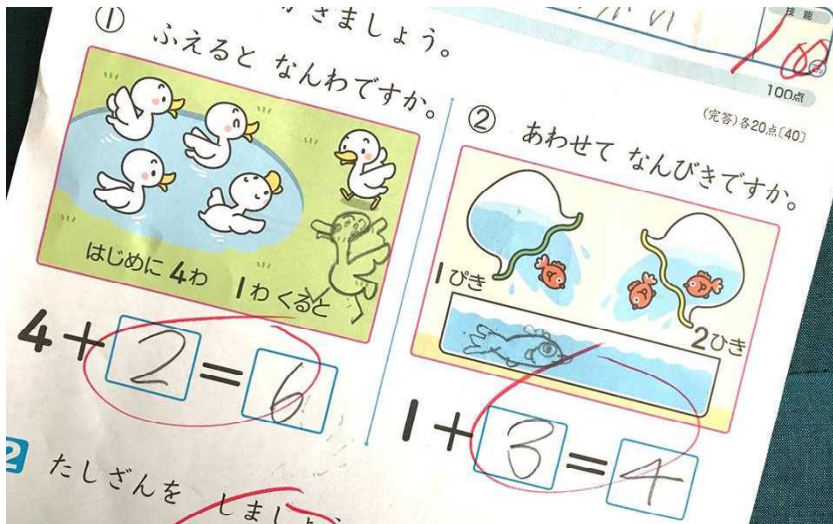
教師の器が大きいことが分かる採点もある！

○中2のときのクラスメイト(ヤンキー系/男)が、数学のテストでやった回答です。テストの内容は関数が主だったのですが、彼はグラフを書き込むためのマス目のスペースに、イラストロジックよろしくマス目を塗りつぶして花の絵を完成させました。回答はそれのみ。本来なら0点。しかし先生(40代・男/ちょっぴり怖い)が「美しい」との理由で2点を与えてました。彼は回答が分からなかったから、ただ0点取るよりは…とウケ狙いでやったんでしょうけど、本当にそんな事をやってしまうのはすごい。でもそれで点を与えた先生ももっとすごい。

(AyumiPPEさん)

○私の友人の話です。「江戸幕府八代将軍の名は？」の設問に「暴れん坊将軍」……。本人曰く、どーしても「吉宗」という名前が出てこなかったらしいです。戻ってきた答案用紙には三角がしてあり、「間違いではない」と書いてあったそうです。良い先生だ。(yumgyumg さん)

「先生、本当にこれを正解に？」答者の柔軟な発想と先生の採点にほっこり！

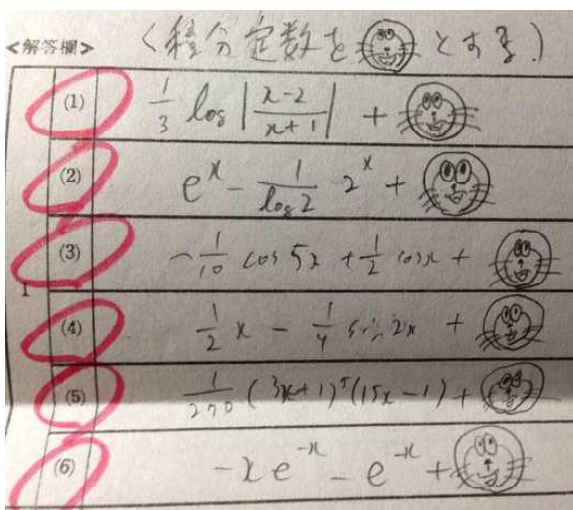


恐らく「ふえるとなんわですか」という問題から、1羽(1匹)を自分で描き足したとみられる次男くんですが、なんと先生はこの回答を正解と判断。最終的に次男くんは100点ももらったのでした！すごい！

これには母である高川さんも「『先生、本当にこれを正解に

してくださっていいんですか…柔軟すぎませんか…?』と申し訳なく思いました」とビックリ。またリプ欄でも「多分先生も “ふふっ” っとなりながら採点してる」「多分頭のいい子で、元々の問題は当たり前過ぎでつまらな過ぎなので、自分でひねりを入れたのだと思う」などの意見が集まった他、次男君の絵がうまいという声もたくさん集まりました。次男くんには子どもならではの柔軟な発想と絵心を持ち続けて欲しいですね……！

この子はふえる鳥と、くわえる金魚がすでに書いてあるとは思わなかったのだと思います。



生徒のユーモアを理解してくれる先生ですね

筑波大学附属小 田中博史先生の算数・3年生。割り算の導入授業

生徒たちの後ろには、300人はいるでしょう、あふれんばかりの見学者。電子黒板に4人の子どもの顔イラストが表示されています。A君は困っていて、Bさんは笑っていて、Cさんは困っていて、D君は無表情。アメ玉が12個ある。さあどう分ける。生徒は、あれこれ試したり議論したりして、2個、5個、2個、3個、という線に落ち着きました。

続いて、ABCDみんなニコニコしているイラスト。生徒を指名して、**みんなの前で分けさせると、3個ずつ置いていく子もいれば、1個ずつ置いていって結果3個ずつになる子もいます。**ぼくが心を奪われたのは、アメを4人に等分した後のこと。

「では、これを計算でできるかな？」と先生。生徒たちがノートに書いたものを前面で紹介し、賛否を問います。

ア 4×3 イ 3×4 ウ どっちもいい エ どっちもだめ

さあ。すると生徒たちはワアワア手を挙げてディベートです。「アがいい。4人がいて、それで3個ずつ。」「3個のアメを4人に分けるからイ。」「 3×4 だと最初から3個って解ってるってことじゃん。」「 4×3 だって最初から3個って解ってるから、どっちもだめ。」「 4×1 個を3回やるってことだから、ア。」

各陣営が大変な意見の応酬で。すると、後ろに座ってた300人の業界人や先生たちもザワザワと議論を始めました。なるほど、この授業のへソは電子黒板やデジタル教材でのわかりやすい視覚効果ではなくて、そこからスタートした、**定まらない答えをみんなで考える、この時間なのですね。**授業全体の7割の時間がこのディベートに当てられています。

そのときぼくは、自分が小4のときの国語の授業を思い出していました。「アリとキリギリス」。お話を読んだ後で、キリギリスが大変なことになったのはなぜでしょう、という設問。選択肢は2つ。 ア 食べ物がなくなったから。 イ 遊んでばかりいたから。

クラスを2分する激論となりました。ぼくはイを主張したのですが、主張しきれません。最後にはとっくみあいをして鼻血を出すヤツも現れる始末で。最後におっとりした年配の女性担任がケリをつけました。「どっちも正しいね。」ウの選択肢がなかったのですな。みんなで「それ早よ言うてくれ！」ってどなった40年前をハッキリ覚えてます。大切な授業の思い出。

さて、目の前の公開授業では、アが優勢になり始めました。が、おさまりがつきません。すると先生、今度は別の子が書いた式を前で紹介。 $\square \times 4 = 12$ なるほど、これで納得。というところでチャイム。授業終了。でも、その後に手を挙げた女の子が聞きました。「先生としては、どれが正解だと思ってるの？」場内、かなりザワつきました。そうだ、ぼくも尋ねたい。デジタルは正解ばかり追い求めると言う田原総一郎さんの顔を思い浮かべながら、**先生の答え。「自分でこれと思ったのがいいと思うよ。」**うむ。いい授業でした。